

平成 26 年度第 1 回根室市市政モニター会議【記録】

1. 日 時 平成 26 年 8 月 7 日（木）午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分

2. 場 所 根室市役所 3 階 大会議室

3. 出席者 【市政モニター】 3 名

【市 側】

市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民福祉部長、
水産経済部長、建設水道部長、教育部長、病院事務長、消防長

【会議進行】総務部長

【司 会】総務課長

4. 開会挨拶（市長）

本来であれば先月 7 月 11 日に第 1 回目の開催を予定していたが、低気圧の影響で警報が出まして中止となり、本日開催の運びでなったところである。日頃より皆様には、市政の推進に対し、格別なるご理解とご支援をいただき心からお礼を申し上げる。平成 26 年度、第 1 回目の市政モニター会議に、夜間の開催にも関わらずご出席いただき、誠にありがとうございます。

この会議は、広く市民皆様のご意見やご提言をいただくため、毎年度モニターの委嘱をさせていただきおり、本年度は 16 名の方々に委嘱させていただいた。

現在、平成 27 年度からスタートするこの先 10 年のまちづくりの指針となる「第 9 期根室市総合計画」の策定作業中であり、市民の皆様から多くのご意見等をいただきながら、市民との「協働」による計画づくりを進めている。

また、本年度の市政方針として、3 つの重点施策を設け、積極的にその取り組みを進めているところであり、

一つ目は「根室再興政策プロジェクトの積極的な推進」であり、「厚みと活力ある産業構造への転換」、「安心と安らぎある生活環境の向上」、「次世代の定着と将来基盤の構築」の 3 つについて、積極的に取り組んでいるところである。

二つ目として「市立根室病院の経営健全化と市民に愛される病院の実現」であり、市内唯一の公的病院として、また地域センター病院としての機能と役割を発揮すべく、経営形態の見直し、経営の効率化、さらには、分娩の再開をはじめとする診療体制の充実に向けた「医師招へい活動」、「看護師などの医療スタッフ確保・定着」に、精力的に取り組んで行く。

三つ目に「北方領土問題の解決に向けた関係施策の促進」であり、戦後 69 年が経過しようとしている中、返還要求運動の中心を担ってきた元島民の 6 割の方々が、島に再び帰ることを夢見ながら他界されている現状を踏まえると、残された時間は、あまりにも少なく、1 日も早い解決を見なければならない。

最近報道されているウクライナ情勢により、日ロ関係に悪影響を及ぼすのではないかといった懸念材料もあるが、今日あたりの新聞を見るとプーチン大統領の秋の訪問が難しいと報道が

されていたが、全国各地の返還要求運動関係者との密接な協力関係を最大限に活かしながら、返還要求運動原点の地として「緊張感」をもって、対応にあたりたいと考えている。

最後に、本日は市政全般にわたり、是非とも忌憚のないご意見・ご提言をいただきたいと考えているので、どうぞよろしくお願いしたい。

5. 座席表により出席者の紹介

6. 2回目以降の会議開催内容(予定)について(事務局から説明)

一点目は、第2回目の会議開催内容についてあるが、ここ数年市政モニター会議内容が、市政モニター制度で位置づけしている「市政に対する意見・提言」の趣旨とは異なり、各町 会・団体・個人の苦情・要望等が出され、それに対して市が回答している状況が続いている。

また、これまでのモニター会議やアンケート調査において、会議内容の改善や開催回数、参加人数が少ないなどといった意見もあった。

このような状況を踏まえ、モニターの皆さんには今後の「市政モニター制度」のあり方等について、見直しも含めた検討をお願いするものと考えている。

方法として、2回目の市政モニターの会議内容は、今後の市政モニター制度のあり方等について、見直しも含め検討していただきたいと考えている。

開催月については、現在、9月頃の予定を考えている。開催時間は、本日と同様の午後6時30分から1時間程度を予定している。

次に二点目の第3回目の会議開催内容についてあるが、今回の会議で出されたモニター皆さんの意見等について、回答が必要な場合は市としての考え方を整理したものをお伝えするとともに、感想をお伺いする。

第2回目の会議で検討した「今後の市政モニター制度のあり方等」について、モニターの皆さんの検討結果を発表したいと考えている。

開催月については、現在のところ11月または2月を予定しており、開催時間についても今回と同様の午後6時30分から1時間程度の予定をしている。

7. 以下、会議詳細

桜の周知について

○モニター

桜の開花時期にテレビやラジオで報道されているが、もっとテレビやラジオを活用して何かできないものか。

○水産経済部長

日本で一番開花の遅い桜を活用した発信を強めてのご意見だと思う。実は、観光協会と測候所OBの方の協力を得て、旧測候所標本木の桜情報を観光協会のブログなどに載せたり、報道関係には、三分咲きや開花情報などの提供をしている。

また、納沙布岬の桜の開花が6月ぐらいであり、歯舞組合の職員の方がもっとも開花が遅い桜としてアピールを行なっているので、今後は、市としても日本一遅い桜として内外の発信に努めたい。

広報ねむろの行事掲載について

○モニター

広報ねむろ行事掲載について、家庭に配布される時には行事が既に終わっているものがあるので意味がないでは。

●総務課長

町内会に1日に配布しているが、町内会から各ご家庭に1週間後に届き、その間に行事が既に終了しているということだと思う。よく雑誌などは、1日号として翌月の1日に間に合うような手法をとっているので、それを広報に用いることができないか。そうなれば1週間ぐらい広報の配布が早くなり、その発行月の行事内容をお知らせになることが可能だと思う。ただ、取材に対する誌面作りも一週間前倒しになることから、どのようにしたらいいのか広報担当と検討したい。

明治公園の除雪について

○モニター

明治公園の駐車場にコの字型に山のように雪が積まれており、年配の方がその山を越えて散歩しているので、両端を少し除雪してくれれば助かると思う。

●建設水道部長

現在、夏・冬のウォーキング人口が増えていることは承知している。冬場利用の関係ですが、特に今年の冬は雪が大変多く降り、生活道路の除雪を最優先に除雪機械を配置したところであり、除雪の見通しがたった段階で公園の方に除雪機械を入れている。公園の除雪は、手で行なうことが難しく機械での除雪が必要であるが、来年の冬に向けどのような形で除雪をしたらいいのか検討したい。

育成協主催のリーダー研修の参加について

○モニター

育成協で行っているリーダー研修に今回は私も行きますが、実際にリーダー研修に参加する子どもが少ないため、今年から学校に伺ってお願いしている。

しかし、子どもの数が減っておりなかなか集まらない。何かいい考えはないものか。

●教育部長

リーダー研修は、当時町内会から子どもの推薦をいただき子ども会のリーダーを養成していこうという趣旨で始まった。

また、育成協の主催するリーダー研修の参加する子どもたちが少ないため、学校まで足を運び要請し、ご苦勞されていることは十分認識している。

しかし、教育委員会が直接行なう事業についても、子どもたちが集まらない実情であり、今回「何かいい考えがないのか」に対し妙案がないのが実体である。

また、学校においても児童生徒数が少なくなっており、学校教育の部分でも大変苦慮しているが、教育委員会としては、今後も育成協の事業への参加を促し一緒に手を携えて行なって行きたい。

ふるさと納税について

○モニター

今回、ふるさと納税に関する市のホームページの見て、押し花のしおりと昆布茶ということで、もちろんそれもいいが、情報番組を見るといただくものが良いところがトップになっている。根室は、花咲がにやさんなどがあり、企業の協力は当然必要であり大変だと思うが、リピーターも増え市の PR にもなると思う。金刀比羅神社例大祭、かに祭り、さんま祭りなどの行事があることがわかるようなもの入れ、観光客を呼び込んで見てはいいのではないか。今年夕張で始めて行なったふるさと納税は、15,000円の寄付で夕張メロンがもらえ、申し込みが殺到したと聞いており、話題性も必要ではないか。

●総合政策部長

根室市もふるさと納税を行っており、いままでに全部で約9千万円いただいている。

しかし、ほとんどが病院の建設基金として8千万円いただいおり、今回の病院の建設に使わせていただいた。

今、いただいた意見は、市でも特産品を送ってというお話したが、実は検討している。一番の問題は、何を送れば喜んでくれるのか。根室だから花咲がにやさんまだろうという意見をいただいている。来年度以降、特産品という形のもができないか、その辺を含め検討は進めている。

給食費の未納対策について

○モニター

新学期が始まると必ず学校の方から、給食費の未納についてのお知らせがある。新聞でも以前給食未納の掲載があり、もう少し回収できないものか。

また、子ども手当から給食費を回収することができないか。

●教育部長

平成25年度学校給食費の収納率は96.27%であり、約440万円の未納がある。滞納されている保護者の方に学校長やPTA会長の名前で、「給食費をお支払いください」と郵便でお伝えしている。給食の未納については、そのままにはせずに給食協会の職員が催促の電話や夜間集金などを行なっている。それでも支払わない保護者の方には、支払い督促で法的な措置として裁判所を通じ強制的に支払いを促しているが、悪質な場合は、給与の差し押さえなども行なっている。

先ほどお話しがあった、子ども手当から給食費を回収については、可能であるが「できる前提」として保護者の同意が必要で強制的にいかないのが事実である。学校給食費の未納については、今後とも学校と給食協会の連携を図り、収納率を上げる取り組みが必要だと考えている。

人口減少の対策について

○モニター

根室市の人口がすごい速さで減ってきている。市では、移住者促進に力を入れているが、根室から人が出て行かない人口を減らさない施策がないのかと思っている。

また、根室の子どもたちが根室に留まれるような地域づくりに力を入れていけないのかなと

思っており、市は人口減少の対策としてどのような活動をしているのかを知りたい。

●総合政策部長

昭和43年頃5万人に達するところまでいったが、漁業の衰退、NTTなどの企業の引き揚げにより、人口がどんどん減少している。これまで人口増加が見られなかったということは、これから先、人を減らさないための政策として何ができるのか。最終的な問題は、企業があって働く場所があるということだが、具体的な方法を打ち出すことができず今日を迎えている。

また、子どもも高校を卒業し、その後大学などの進学となれば、市から出て行ってしまう。市としても、Uターン・Iターンなどの施策は進めているものの、それに見合う結果が出ていないのが現状である。

○モニター

地元ふるさとの素晴らしさを教える「教育」が必要だと思う。

7. 閉会挨拶（市長）

今回のような意見交換という形で、市政モニターが行なえたのは初めてであり、皆さんにテーマを与えて意見を聴き、アイデアを聴くのも理想的かなと思う。

市政モニターの任期は3月末までとなっており、今年度は残り2回の機会があるが、これ以外にもご意見をお聞きしたいことがありましたら、電話などでどしどし意見を出してほしい。本日は、誠にありがとうございました。